



ご卒業おめでとうございます



年度末を迎えました。保護者のみなさま、地域のみなさまのご協力のおかげで、今年度も無事終了することができます。1年間、学校をお支えくださり、どうもありがとうございました。心から感謝申し上げます。

23日には第47回卒業式を挙行し、39名の卒業生が巣立ちました。卒業生の顔を見ていると、一人一人が小学校生活の満足感を感じるとともに、中学校生活への期待に満ちあふれた表情であることを感じました。小学校生活の授業日数は、約1200日ありますが、今年度の卒業生はコロナ禍による学校休業期間中の入学となったため、その分授業日数が少なくなっています。入学当初はマスクをして登校したり、3密を避けるために行事や友達同士での学習活動を制限されたりすることがありました。そんな小学校生活の始まりでしたが、卒業生はこの6年間で心も体も立派に成長し、頼もしくなりました。

卒業生のみなさんは今、小学校生活という「一つのこと」が終わりました。そして明日登る「中学校生活」という新しい山を見定め、未来へと羽ばたいていきます。明日登る山はどんな山でしょうか。もしかすると、途中には険しい道があったり道に迷ったりすることもあるかも知れません。でも大丈夫です。みなさんには温かく見守ってくださるお家の方や、担任の先生をはじめとする田辺東部小学校のみんながついています。みなさんの中学校生活を全力で応援していますから、自信をもって毎日を歩んでください。困ったときや誰かに話をしたくなったときは、いつでも来てくださいね。

卒業生保護者のみなさまにおかれましては、6年間にわたり本校教育活動をお支えくださり、ありがとうございました。心から感謝申し上げます。在校生のごきょうだいがいらっしゃらない保護者のみなさまとは、一旦お別れとなりますが、今後とも地域の応援団として田辺東部小学校のことをよろしく願い申し上げます。

ひかりの森再生プロジェクト

3月16日(月)朝の時間を使って、6年生が「ひかりの森」の枝などの片付けをしてくれました。

学校では、育友会や校区協議会、学社融合推進協議会の方々のご協力を得て、今年度より「ひかりの森」の再生に取り組んでいます。

以前は、休み時間にどんぐり拾いをしたり、低学年の秋祭りを行ったりしていた「ひかりの森」ですが、コロナ禍を経て今は立ち入り禁止となっています。もう一度、「ひかりの森」で自然を感じ、ふれあってほしいとの思いから、整美を始めています。

今年度卒業していく6年生は、実際に入って過ごす時間は残念ながらありませんが、田辺東部小学校の後輩たちのために、大きくなりすぎて切り落とした枝や自然に足下に落ちている枝などを、「これも低学年の子が遊ぶんやったら危ないな。」などと話しながら、あっという間にきれいにしてくれました。

6年生から後輩たちへの思いのこもった素敵なプレゼントとなりました。

6年生のみなさん、どうもありがとう。



ひがし公民館区 人口及び世帯数(2月末現在)

人口 5,353人 2,794世帯
(男性) 2,526人
(女性) 2,827人



編集・発行 田辺市南新万28番1号 田辺市ひがし公民館 館長：濱野 公二 主事：寺本 香花
TEL：22-2088 FAX：81-3301 田辺市ホームページ <http://city.tanabe.lg.jp/>

館長より

紀南地方では一足早くクマノザクラが満開になりましたが、日本の各地でもソメイヨシノの開花宣言がなされ、桜前線が北上しています。田辺東部小学校では、4月8日に桜の花やチューリップに囲まれて、新入生が登校してきます。ご入学おめでとうございます。そして中学校、高等学校、大学に進学される皆様、ご入学おめでとうございます。

しかし世界に目をやれば、アメリカとイスラエルのイランへの攻撃により、小学校にミサイルが着弾して、175人の尊い子どもの命が犠牲になりました。ロシアのウクライナへの侵略により、何万人という子どもたちがロシアに連れ去られています。また、最近のSNSの発達により、子どもたちがその悪影響を受けていて、SNSを規制したり制限したりする国々もでてきています。子どもたちを取り巻く環境は決して良くありません。

ところで、『子どもの権利条約』をご存知でしょうか。日本ユニセフ協会によると、これは1989年11月20日の国連総会において、196の国・地域が締結した世界で最も広く受け入れられている人権条約です。子ども(18歳未満の人)が守られる対象であるだけでなく、権利を持つ主体であることを明確にしたものです。生きる権利や成長する権利はもちろん、暴力から守られる権利、教育を受ける権利、遊ぶ権利、参加する権利など、世界のどこで生まれても子どもたちが持っている様々な権利が定められています。

ひがし公民館では人権学習として、3月11日(水)に、日本レジリエンス教育研修センター代表理事で徳島文理大学特任教員の小児発達博士の西田千寿子さんに『レジリエンス(しなやかな心)って何?～子どもの心を守る言葉かけ～』と題して講演をしていただきました。増加傾向にある不登校の小・中学生、子どもの幸福度の世界における比較をデータで示され、どうすれば子どもが幸せになれるかを考える機会になりました。

要約して共有しましょう。子どもは、周りの大人に認めてもらえず関係性が築けていなかったら、人の目を引こうとして、攻撃的になったり、嘘をついたり、わがままになったり、ベタベタしたり、さらには無気力になってしまいます。その根底には、不安があり自分のことをわかって欲しいという気持ちがあるからです。そこで大人にとって、子どもを見つめ、ありのままに受け止め、変化に気づき、心の動きを読み取り、褒めたり励ましたりする言葉かけが重要になってくるのです。子どもは、守られていて癒やされ元気が出るという「安全と安心」を感じることで、非認知能力(意欲・忍耐力・自制心・協調性などの心の働きや感情に関する能力)が育まれるのです。これがレジリエンスつまり「生きる力」なのです。

子どもの幸せは、私たち大人の一番の願いです。今日から意識して子どもに接してみましょう。

『枕草子』-平安時代中期の清少納言による随筆-からの抜粋

春はあけぼの。やうやうしろくなり行く、山ぎはすこしあかりて、紫だちたる雲のほそくたなびきたる。

(口語訳) 春は夜明け方が趣深い。だんだんと空がしらんでゆくが、やがてその山際がすこし明るくなって、紫がかった雲が細くたなびいているのがいい。

「#わたしの休日ログ展」入賞作品決定！

去る2月21日（土）・22日（日）、秋津公民館（あきづ文化祭内）にて開催しました「#わたしの休日ログ展」には、39点のご応募をいただきました。多くの皆さまにご参加いただき、誠にありがとうございました。

来場者投票により、各部門の入賞作品が決定いたしましたので、ご紹介します。

※本事業は秋津公民館での開催ですが、「ひがし公民館だより」1月号でご案内したため、本号にも掲載しています。

押し活部門

プリンさん



アニメ「グリッドマン」に出てくる怪獣
グリッドマン展にて撮影
#押し怪獣 #グリッドマン展

グルメ部門

やんちゃひめさん



2泊3日函館から小樽へ。昼食の代わりに
思い切って食べました。完食しましたが、特別の味ではありませんでした。

自然・風景部門

権左衛門さん



夕暮れ時、散歩中に会った野良猫。写真を撮っていか尋ねると快諾してくれました。

#猫 #天神崎 #夕暮れ #イケメン

家族・ペット部門

ヒナちゃんさん



カメラを持って写真撮ると声かけすると
高い確率でこのポーズをとってくれる。

#自宅

趣味・フリー部門

hiro10さん



部活の無い休日はお父さんとエギングに行きます。この日は自己最高記録のアオリイカを釣りました!!5分間のファイティングがとても最高でした。

入賞された皆さま、おめでとうございます！



東陽中学校

田辺市立東陽中学校 学校だより
最終号 令和7年3月24日

令和7年度が修了しました

本日3月24日、令和7年度の修了式を無事に迎えることができました。3月6日には卒業証書授与式が行われました。様々な場面で東陽中学校の中心として活躍してくれた卒業生の今後の活躍を願っています。在校生には、4月から新しい立場で頑張ってくれることを期待します。

令和7年度も本校の教育活動にご理解と多大なご協力をいただき誠にありがとうございました。

第77回卒業証書授与式 答辞 一部省略 卒業生代表 山本 智也

冬の寒さも和らぎ、暖かな春を感じられる季節となりました。僕たち八十名は九年間に渡る義務教育を終え、今日、卒業の日を迎えました。

本日は、僕たちのために盛大な卒業式を挙げていただき、誠にありがとうございます。卒業生を代表して心からお礼申し上げます。今日で、この東陽中学校を旅立つことにとっても寂しさを感じます。しかし、多くの方々の支えのもとで、無事に卒業の日を迎えられる幸せで胸がいっぱいです。 ~中略~

中学校生活最後の体育大会は、東陽中学校初の縦割りで体育大会になりました。初めての試みということで、不安でした。自分たちで考えた行進やダンス。初めはうまくいかず、他のブロックを見て焦る僕たちでしたが、後輩のみなさんは一生懸命ついてきてくれました。体育大会当日は、学校全体が盛り上がり、みんなで力を合わせて大成功させることができ、とても嬉しかったことを覚えています。学年のみんなで肩を組んで歌った「栄光の架け橋」。忘れることなく、この胸に残っています。

今も変わらず鮮明に思い出される修学旅行。学年の仲間と行く最初で最後の旅行です。出発前夜は、なかなか眠れませんでした。東京の街は人が多く、少し困惑しましたが、学年の全員がとても楽しそうでした。東京タワーを下から見たときの迫力は今でも忘れられません。東京の夜景は田辺の夜景とは全く違い、きらきらしていて、とてもきれいでした。中でも、みんなが楽しみにしていた、ディズニーランド。アトラクションに乗る人や、美味しいものを食べ歩く人、家族や親戚にお土産を買う人、自分自身のおみやげを選ぶ人など、時間いっぱいまで楽しみました。この修学旅行では、時間を守ることの大切さ、お互いのことを思いやって行動することの大切さを改めて実感しました。「全員が楽しかったと思える修学旅行」という目標が達成できたと思います。 ~中略~

この三年間、振り返ると、いつもそばにいてくれたのは、仲間でした。お互いに支え合って、喜びあった友達。辛いことがあればいつも寄り添ってくれた友達。お互いに高めあってきたライバルもいました。この学年は、みんな優しく、どんなことにも全力で、給食もいつも完食で、元気すぎる場所もあるけど、いざというときには、全員が力を合わせ、目標を達成することができる学年でした。こんな最高の仲間と共に学んだり、遊んだり、話し合ったりすることができて、僕たちは、本当に幸せでした。みんな、ありがとう。

また、時には厳しく、時には優しく、いつも僕たちを指導してくださった、先生方。迷惑をかけてしまったことも多くありましたが、その分僕たちは成長しました。先生方のおかげで、僕たちはとても楽しく、充実した中学校生活を送ることができました。ありがとうございました。

そして、どんなときも一番そばで僕たちを支えてくれた家族。心配や迷惑をかけることも多くありました。それでも一五年間、毎日僕たちの成長を一番近くで見守ってくれていました。なかなか素直になれず、家では反抗的になってしまうけど、本当に心から感謝しています。ありがとうございました。そして、これからも僕たちを支え、見守っていてください。

学び、遊び、笑い、毎日のように過ごしてきた東陽中学校での生活も、今日で終わります。そして僕たち卒業生は、それぞれの夢に向かって、別々の道を一歩ずつ歩いていきます。大きな壁にぶつかったときには、この東陽中学校の三年間を思い出し、それを心の支えに、乗り越えていきます。在校生の皆さん、これからはみなさんが東陽中学校を引っ張っていく番です。みんなで協力し、この東陽中学校の伝統を受け継ぎ、より良い学校を築いてくれることを心から願います。僕たちはこの東陽中学校で、卒業を迎えられることを誇りに思います。もう通うことのないこの東陽中学校。寂しい気持ちもありますが、三年間の思い出を胸に、今卒業します。

最後に、皆様の御健康と御多幸を心からお祈りし、答辞とさせていただきます。僕たちを支えてくださったすべての皆様、本当にありがとうございました。